

(様式第 9)

島大医総第 3 1 2 号
平成 2 1 年 1 0 月 2 日

厚生労働大臣 殿

島根大学医学部附属病院長
小林 祥

島根大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 0 年度の業務に関して報告します。
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	1,173 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	304人	1.0人	305.0人	看護業務補助	32人	診療エックス線技師	人
歯科医師	24人	人	24.0人	理学療法士	6人	臨床検査技師	31人
薬 剤 師	23人	人	23.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	3人	その他	人
助 産 師	11人	人	11.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看 護 師	382人	21.0人	403.0人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	人	人	人	栄 養 士	1人	その他の技術員	20人
歯科衛生士	1人	0.7人	1.7人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	131人
管理栄養士	5人	人	5.0人	診療放射線技師	25人	その他の職員	24人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	499.6 人	8.4 人	508 人
1日当たり平均外来患者数	920.3 人	32.4 人	952.7 人
1日当たり平均調剤数	(入院) 457.8 剤	(外来) 215.9 剤	計 673.7 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	8人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	0人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第VII因子欠乏症、先天性アンチトロンビンIII欠乏症、先天性ヘパリンコファクターII欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、眼瞼癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
31P—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マンテル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	0人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	0人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人

無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。)及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。)が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	0人
--	--	----

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	0人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="checkbox"/> 無	0人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	73 人	・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	14 人
・多発性硬化症	46 人	・ウェゲナー肉芽腫症	7 人
・重症筋無力症	55 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	14 人
・全身性エリテマトーデス	175 人	・多系統萎縮症	23 人
・スモン	5 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人
・再生不良性貧血	47 人	・膿疱性乾癬	4 人
・サルコイドーシス	57 人	・広範脊柱管狭窄症	2 人
・筋萎縮性側索硬化症	11 人	・原発性胆汁性肝硬変	11 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	87 人	・重症急性膵炎	人
・特発性血小板減少性紫斑病	74 人	・特発性大腿骨頭壊死症	38 人
・結節性動脈周囲炎	25 人	・混合性結合組織病	46 人
・潰瘍性大腸炎	100 人	・原発性免疫不全症候群	人
・大動脈炎症候群	20 人	・特発性間質性肺炎	8 人
・ビュルガー病	9 人	・網膜色素変性症	5 人
・天疱瘡	10 人	・プリオン病	2 人
・脊髄小脳変性症	42 人	・原発性肺高血圧症	1 人
・クローン病	57 人	・神経線維腫症	人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・悪性関節リウマチ	12 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・パーキンソン病関連疾患	113 人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	4 人
・アミロイドーシス	9 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	人
・後縦靭帯骨化症	28 人	・副腎白質ジストロフィー	人
・ハンチントン病	2 人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に3～4回		
剖検の状況	剖検症例数	28 例	剖検率 9.2 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
無症候性脳梗塞・白質病変に関するガイドラインの検証研究	小林 祥泰	病院長	4,940,000	補 文部科学省科学研究費補助金
尿毒素物質による慢性腎臓病の進展機序の解明と治療への応用	矢野 彰三	内分泌代謝内科	2,470,000	補 文部科学省科学研究費補助金
AGEs-RAGE系とFetuin-Aの骨代謝と動脈硬化に対する病態生理の解明	山本 昌弘	内分泌代謝内科	2,340,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Stem cell biologyに立脚したパレット腺癌の成因の解明	木下 芳一	消化器内科	1,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
カプサイシン感受性神経と食道運動機能からみた非びらん性胃食道逆流症の病態解明	足立 経一	消化器内科	1,820,000	補 文部科学省科学研究費補助金
胃粘膜増殖因子REGの受容体とされているEXTL3の真の機能	門脇 泰憲	消化器内科	2,080,000	補 文部科学省科学研究費補助金
急性心筋梗塞、脳卒中の急性期医療におけるデータベースを用いた医療提供の在り方に関する研究 (H20-心筋一般-001)	山口修平 (分担)	神経内科	300,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
生活習慣病発症予知予防を目標とした中山間地域住民の長期追跡調査による臨床疫学研究	山口修平 (分担)	神経内科	1,000,000	補 文部科学省科学研究費補助金
MFG-E8によるNF- κ B依存性シグナルの制御機構の解明と腸管の抗炎症薬開発	石原 俊治	消化器内科	2,730,000	補 文部科学省科学研究費補助金
食道扁平上皮の恒常性維持におけるNotchシグナルの役割と腺癌発症機構の解明	石村 典久	消化器内科	2,600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
曝露原因物質を迅速簡便に特定するための皮膚分析の有効性と応用性を評価する研究	辻野 佳雄	皮膚科	1,000,000	補 文部科学省科学研究費補助金
各種皮膚疾患における培養困難微生物を含む微生物叢の網羅的解析	出来尾 格	皮膚科	2,080,000	補 文部科学省科学研究費補助金
重症多型滲出性紅斑に関する調査研究	森田 栄伸 (分担)	皮膚科	1,500,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
神経皮膚症候群に関する調査研究	古村 南夫 (分担)	皮膚科	1,000,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
底アレルゲン小麦を用いた食品開発に関する研究	森田 栄伸	皮膚科	200,000	補 島根県中山間地域研究センター
染色体変異小麦を用いた底アレルゲン化アレルゲン化小麦製品の試作	河野 邦江	皮膚科	1,600,000	補 (財)飯島記念食品科学振興財団
Fast-GC/MSを導入した迅速、高感度、高精度の代謝異常診断システムの開発	山口 清次	小児科	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Survivinを標的とした活性型Flt3陽性造血腫瘍に対する新たな治療戦略開発	福田 誠司	小児科	4,420,000	補 文部科学省科学研究費補助金
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	山口 清次 (分担)	小児科	1,000,000	補 厚生労働省科学研究費補助金

小計19

タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究	山口 清次	小児科	16,500,000	補	厚生労働省科学研究費補助金
成育疾患のデータベース構築・分析とその情報提供に関する研究	山口 清次 (分担)	小児科	1,000,000	補	厚生労働省科学研究費補助金
乳幼児突然死症候群(SIDS)における病態解明と臨床的対応および予防法開発とその普及啓発に	山口 清次 (分担)	小児科	850,000	補	厚生労働省科学研究費補助金
先天性代謝異常症の診断ネットワークを介した長期予後追跡システムの構築	山口 清次 (分担)	小児科	1,000,000	補	成育医療センター
GATA2を介したSurvivinによる造血幹細胞の再生増殖メカニズムの研究	福田 誠司	小児科	1,000,000	補	(財)持田記念医学薬学振興財団
GATA2を介したSurvivinによる造血幹細胞の再生増殖メカニズムの研究	福田 誠司	小児科	1,000,000	補	(財)飯島記念食品科学振興財団
正常造血幹細胞、並びに造血腫瘍細胞増殖におけるSurvivinの機能解析	福田 誠司	小児科	1,000,000	補	(財)三共生命科学振興財団
再生肝および腫瘍組織における低酸素環境下での血管新生の分子機構に関する実験的研究	山野井 彰	肝・胆・膵外科	2,210,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大気圧低温プラズマを用いた腱癒着防止・腱縫合部癒合促進技術の開発	内尾 祐司	整形外科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
膝安定性計測器の実用化	熊橋 伸之	整形外科	1,818,000	委	独立行政法人科学技術振興機構、JSTイノベーション
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	井川 幹夫 (分担)	泌尿器科	500,000	補	厚生労働省科学研究費補助金
塩酸ミノサイクリンの抗精神病薬効果に関する研究	宮岡 剛	精神科神経科	1,950,000	補	文部科学省科学研究費補助金
統合失調症発症ならびに非定型抗精神病薬治療の脳内GABA濃度におよぼす影響の検討	宮岡 剛	精神科神経科	1,000,000	補	(財)先進医療研究振興財団
ゴナドトロピン分泌における大脳視床下部生理活性物質の作用機序に関する研究	宮崎 康二	産科 婦人科	1,560,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Digital Karyotypingを用いた卵巣明細胞腺癌の新規分子標的の検索	中山 健太郎	産科 婦人科	1,040,000	補	文部科学省科学研究費補助金
下垂体ゴナドトロピン特異的合成メカニズムの解明	金崎 春彦	産科 婦人科	1,430,000	補	文部科学省科学研究費補助金
アレルギー性鼻炎の制御に向けた新たな治療戦略の確立 -免疫分子生物学的研究-	川内 秀之	耳鼻咽喉科	4,810,000	補	文部科学省科学研究費補助金
粘膜系自然・獲得免疫によるアレルギー制御	川内 秀之 (分担)	耳鼻咽喉科	2,500,000	補	厚生労働省科学研究費補助金
肥満細胞と自然免疫のクロストークからのアレルギー性鼻炎制御の試み	清水 保彦	耳鼻咽喉科	2,210,000	補	文部科学省科学研究費補助金
内因性酸化ストレス応答の分子機構解析とその調節による網膜変性抑制	谷戸 正樹	眼科	2,210,000	補	文部科学省科学研究費補助金
レーザーマイクロダイセクションを用いた網膜内発現タンパク質の局在及び定量解析	海津 幸子	眼科	3,120,000	補	文部科学省科学研究費補助金
おとり遺伝子を用いた腫瘍血管新生抑制による純国産型遺伝子治療法の開発	石橋 浩晃	歯科口腔外科	5,720,000	補	文部科学省科学研究費補助金

生活習慣病発症予知予防を目標とした中山間地域住民の長期追跡調査による臨床疫学研究	益田 順一	臨床検査医学	10,270,000	補	文部科学省科学研究費補助金
11q23転座型白血病に対するRapamycinの効果に関する研究	竹谷 健	輸血部	1,170,000	補	文部科学省科学研究費補助金
重度先天性骨大社疾患に対する遺伝子改変間葉系幹細胞移植治療法の開発(重度先天性骨代謝疾患に対する細胞委嘱治療の臨床応用の確立)	竹谷 健	輸血部	10,000,000	委	文部科学省
救急外来でのグラム染色による迅速細菌検査の導入	橋口 尚幸	救急部	300,000	補	(財)島根大学医学教育振興財団
多次元軌跡データからの知識発見とその医療応用に関する研究	津本 周作	医療情報部	2,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
最適な電子カルテインターフェイス開発のためのアクティブマイニング	津本 周作	医療情報部	5,070,000	補	文部科学省科学研究費補助金
在宅を含む医療と福祉の安全安心な電磁環境基盤整備に関する研究	花田 英輔	医療情報部	4,680,000	補	文部科学省科学研究費補助金
パレット食道の病態に対する逆流胆汁と脂肪酸合成酵素の関わり	天野 祐二	光学医療診療部	2,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
インフルエンザ症例における麻黄湯坐剤投与後のエフェドリンの体内動態	西村 信弘	薬剤部	300,000	補	(財)島根大学医学教育振興財団
「医療安全に係るコミュニケーションスキルに関する研究ー患者ハラスメントに焦点をあててー」	廣瀬 昌博 (分担)	病院医学教育センター	500,000	補	厚生労働省科学研究費補助金

小計10
合計51

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Nephron Clin Practice 109(1):c33-c39, 2008(平成20年5月)	Association between Erythropoietin Requirements and Antihypertensive Agents.	Yano S, Suzuki K, Iwamoto M, Urushidani Y, Yokogi H, Kusakari M, Aoki A, Sumi M, Kitamura K, Sanematsu H, Gohbara M, Imamura S, Sugimoto T	内分泌代謝内科、血液内科
Endocrine Journal 55(4):667-675, 2008(平成20年5月)	Serum DHEA-S level is associated with the presence of atherosclerosis in postmenopausal women with type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Yamamoto M, Yamauchi M, Kurioka S, Yano S, Sugimoto T	内分泌代謝内科、血液内科
Calcified Tissue International 83(5):324-331, 2008(平成20年10月)	Combination of obesity with hyperglycemia is a risk factor for the presence of vertebral fractures in type 2 diabetic men.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Yamamoto M, Yamauchi M, Yano S, Sugimoto T	内分泌代謝内科、血液内科
Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism 94(1):45-49, 2009(平成20年11月)	Serum osteocalcin level is associated with glucose metabolism and atherosclerosis parameters in type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Yamamoto M, Yamauchi M, Kurioka S, Yano S, Sugimoto T	内分泌代謝内科、血液内科

小計4

European Journal of Endocrinology 160(2): 265-273, 2009(平成20年11月)	Relationships between serum adiponectin levels versus bone mineral density, bone metabolic markers, and vertebral fractures in type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Yamamoto M, Yamauchi M, Yano S, Sugimoto T	内分泌代謝内科、血液内科
Journal of Bone and Mineral Research 24:702-709, 2009(平成21年4月)	Diabetic patients have an increased risk of vertebral fractures independent of bone mineral density or diabetic complications.	Yamamoto M, Yamaguchi T, Yamauchi M, Kaji H, Sugimoto T	内分泌代謝内科、血液内科
Internal Medicine, 47: 691-696, 2008(2008.04)	Five-year follow-up study of patients with reflux symptoms and reflux esophagitis in annual medical check-up field	Azumi T, Adachi K, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Apoptosis, 13: 609-620, 2008(2008.05)	Prolactin induces MFG-E8 production in macrophages via transcription factor C/EBP β - dependent pathway	Aziz MM, Ishihara S, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Digestion, 77: 166-172, 2008(2008.06)	Efficacy of prokinetic agents in improving bowel preparation for colonoscopy	Mishima Yu, Amano Y, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology and Hepatology, 23: 1063-1068, 2008(2008.06)	Does magnifying endoscopy improve the diagnosis of erosive esophagitis?	Amano Y, Yamashita H, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology and Hepatology, 23: e270-274, 2008(2008.07)	Ferucarbotran expands area treated by radiofrequency ablation in rabbit livers	Miyake T, Sato S, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
World Journal of Gastroenterology, 14: 5712-5716, 2008(2008.10)	Esophageal epithelial surface in patients with gastroesophageal reflux disease: An electron microscopic study	Azumi T, Adachi K, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
The American Journal of Gastroenterology, 103: 2659-2660, 2008(2008.10)	Endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration of a mixed acinar-endocrine carcinoma: a case report	Imaoka H, Amano Y, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology and Hepatology, 23: S210-S215, 2008(2008.12)	What is the clinical significance of stromal angiogenesis in Barrett's esophagus?	Moriyama N, Amano Y, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Hepatology Research, 39: 40-46, 2009(2009.01)	Prophylactic administration of antibiotics unnecessary following ultrasound-guided biopsy and ablation therapy for liver tumors: Open-labeled randomized prospective study	Sato S, Miyake T, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology, 44: 412-418, 2009(2009.03)	Gastric emptying of liquid and solid meals of various temperatures: effect of meal temperature for gastric emptying	Mishima Y, Amano Y, et al	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Frontiers in Bioscience (平成20年)	Involvement of cystatin C in pathophysiology of CNS diseases.	Nagai A, Terashima M, Sheikh AM, Notsu Y, Shimode K, Yamaguchi S, Kobayashi S, Kim SU, Masuda J	神経内科
Stroke (平成20年)	Metabolic syndrome is associated with silent ischemic brain lesions.	Bokura H, Yamaguchi S, Iijima K, Nagai A, Oguro H	神経内科
Acta Neurologica Scandinavica (平成20年)	Chemokine-like factor expression in the idiopathic inflammatory myopathies.	Chowdhury MH, Nagai A, Terashima M, Sheikh MA, Murakawa Y, Kobayashi S,	神経内科

Stroke (平成20年)	Sarpogrelate-Aspirin Comparative Clinical Study for Efficacy and Safety in Secondary Prevention of Cerebral Infarction (S-ACCESS): A randomized, double-blind, aspirin-controlled trial.	Shinohara Y, Nishimaru K, Sawada T, Terashi A, Handa S, Hirai S, Hayashi K, Tohgi H, Fukuuchi Y, Uchiyama S, Yamaguchi T, Kobayashi S	神経内科
Kampo Medicine	Effect of Keishibukuryogan on silent brain infarction over 3 years.	Goto H, Shimada Y, Hikiami H, Kobayashi S, Yamaguchi S, Matsui R, Shimode K, Mituma T, Shintani T, Ninomiya H, Niizawa A, Terasawa K	神経内科
International Journal of Biometorology (平成20年)	Effects of redecoration of a hospital isolation room with natural materials on stress levels of denizens in cold season.	Ohta H, Maruyama M, Tanabe Y, Hara T, Nishino Y, Tsujino Y, Morita E, Kobayashi S, Shido O	神経内科
Acta Neurol Scand (平成20年)	Cystatin C expression in ischemic white matter lesions.	Umegae N, Nagai A, Terashima M, Watanabe T, Shimode K, Kobayashi S, Masuda J, Kim SU, Yamaguchi S	神経内科
Neuroreport (平成20年)	Expression of cytokines and cytokine receptors in human Schwann cells.	Ozaki A, Nagai A, Lee YB, Myong NH, Kim SU	神経内科
Atherosclerosis (平成20年)	Association between PRKCH gene polymorphisms and subcortical silent brain infarction.	Serizawa M, Nabika T, Ochiai Y, Takahashi K, Yamaguchi S, Makaya M, Kobayashi S, Kato N	神経内科
Journal of Cognitive Neuroscience (平成20年)	The key locus of common inhibition network for NoGo and stop-signals.	Zheng D, Oka T, Bokura H, Yamaguchi S	神経内科
Cerebrovascular Diseases (平成21年)	Predictors of intracerebral hemorrhage severity and its outcome in Japanese stroke patients.	Hosomi N, Naya T, Ohkita H, Mukai M, Nakamura T, Ueno M, Dobashi H, Murao K, Masugata H, Miki T, Kohno M, Kobayashi S, James A. Koziol, for the Japan Standard Stroke Registry Study Group	神経内科

American Journal of Hypertension (平成21年)	Evaluation of asymmetric dimethylarginine and homocysteine in microangiopathy-related cerebral damage.	Notsu Y, Nabika T, Bokura H, Suyama Y, Kobayashi S, Yamaguchi S, Masuda J	神経内科
Cerebrovascular Diseases (平成21年)	Edaravone (radical scavenger) versus sodium ozagrel (antiplatelet agent) in acute noncardioembolic ischemic stroke (EDO trial).	Shinohara Y, Saito I, Kobayashi S, Uchiyama S	神経内科
Gria (平成21年)	Lysophosphatidylcholine induces glial cell activation: Role of rho kinase.	Abdullah Md. Sheikh, Nagai A, Jae K. Ryu, James G. Mclarnon, Seung U. Kim, Masuda J	神経内科
American Journal of Hypertension (平成21年)	Effects of G994T in the Lp-PLA2 gene on the plasma oxidized LDL level and carotid intima-media thickness in Japanese: The Shimane study.	Tao Wang, Karino K, Yamasaki M, Yan Zhang, Masuda J, Yamaguchi S, Shiwaku K, Nabika T	神経内科
Neuroscience Letters (平成21年)	Automatic activation of motor programs by object affordances in patients with Parkinson's disease.	Oguro H, Robert Ward, Martyn Bracewell, John Hindle, Robert Rafal	神経内科
Journal of Pediatric Urology 5: 68-71, 2009 (平成21年1月)	Idiopathic testicular infarction in a boy initially suspected to have acute epididymo-orchitis associated with mycoplasma infection and Henoch-Schönlein purpura.	Fukuda S, et.al	小児科
Pediatric Neurology 40(2): 131-133, 2009 (平成21年2月)	Rotavirus-Associated Encephalopathy With a Reversible Splenic Lesion. Pediatric Neurology 40(2): 131-133, 2009 (February)	Fukuda S, et.al	小児科
日本小児科学会雑誌 113(1): 75-78, 2009 (平成21年1月)	脂肪酸代謝障害の所見を示したセレウス菌食中毒に伴う急性脳症の5歳男児例.	四本由郁, 他	小児科
日本未熟児新生児学会雑誌 21(2): 65-70, 2009 (平成21年2月)	早期の肝生検によって治療法を決定し化学療法を行わず良好な経過をとったtransient myeloproliferative disorder (TMD) の1例.	虫本雄一, 他	小児科
外科70:1021-1024, 2008. (2008年9月)	急性虫垂炎合併盲腸癌に対する腹腔鏡下右結腸切除術の1例	川畑康成, 田中恒夫ほか	消化器外科
European Journal of Cardio-thoracic Surgery 34:427-431, 2008. (2008年10月)	Lymph node classification of esophageal squamous cell carcinoma and adenocarcinoma.	Mitsuo Tachibana, Shoichi Kinugasa, Noriyuki Hirahara, Hiroshi Yoshimura	消化器外科
漢方医学 (平成20年4月)	変形性膝関節症に対するインドメタシファンネシル・防己黄耆湯併用療法の臨床的検討	長見晴彦, 田中恒夫, 平原典幸, 織田禎二他	循環器・呼吸器外科
循環器科 (平成20年4月)	当院で経験した冠攣縮性狭心症46例の臨床的検討	長見晴彦, 塩出宣雄, 織田禎二, 花田智樹他	循環器・呼吸器外科
外科 (平成20年4月)	臨床と研究: AFP産生胃癌とCA19-9産生胃癌との腫瘍増殖能の比較・検討	長見晴彦, 田中恒夫, 織田禎二他	循環器・呼吸器外科
消化器科 (平成20年4月)	AFP産生胃癌6症例の検討	長見晴彦, 織田禎二他	循環器・呼吸器外科

消化器科 (平成20年5月)	術後急性食道・胃・十二指腸蜂窩織炎の1症例	長見晴彦、田中恒夫、矢野誠司、平原典幸、大森浩志、佐藤仁俊、小池 誠、織田禎二他	循環器・呼吸器外科
消化器科 (平成20年6月)	糖尿病の治療中に発症した肝細胞癌の3症例	長見晴彦、香川幸司、田中恒夫、矢野誠司、小池 誠、佐藤仁俊、大森浩志、野坂誠士、織田禎二他	循環器・呼吸器外科
消化器科 (平成20年6月)	偶然発見された無症状の腫瘍内血腫を合併した小肝細胞癌の1例	長見晴彦、内藤篤、舟塚雅英、矢野誠司、田中恒夫、織田禎二他	循環器・呼吸器外科
日本呼吸器外科学会雑誌 22(5):760-764, 2008.7	大腸癌肺転移に対するラジオ波焼灼術後に発症した難治性気胸の1例	坪島颯司、西尾渉、織田禎二	循環器・呼吸器外科
消化器科 (平成20年8月)	Helicobacter pylori菌除菌後に急性増悪した全結腸型潰瘍性大腸炎の1例	長見晴彦、大谷順、植田宏治、須藤一郎、末光浩也、大塚昭雄、野坂誠士、織田禎二他	循環器・呼吸器外科
消化器科 (平成20年8月)	右腸腰筋膿瘍を合併した同時性重複癌	長見晴彦、田中恒夫、織田禎二他	循環器・呼吸器外科
島根医学 (平成20年9月)	腰痛外来における高齢者腹部大動脈瘤の検討	長見晴彦、花田智樹、金築一摩、今井健介、織田禎二	循環器・呼吸器外科
Knee 15(1): 50-53, 2008 (平成20年)	Bone union of painful bipartite patella after treatment with low-intensity pulsed ultrasound: Report of two cases.	Kumahashi N et al	整形外科
Knee 15(1): 68-70, 2008 (平成20年)	Localized pigmented villonodular synovitis in the knee associated with locking symptoms.	Yotsumoto T et al	整形外科
Foot and Ankle International 29(2): 251-253, 2008 (平成20年)	Technique Tip: The Bandage Distraction Technique for Arthroscopic Arthrodesis of the Ankle Joint.	Miyamoto W et al	整形外科
Foot and Ankle International 29(4): 435-437, 2008 (平成20年)	Technique Tip: A Radiographic Projection for an Avulsion Fracture of the Talar Attachment of the Anterior Talofibular Ligament.	Miyamoto W et al	整形外科
The Journal of Hand Surgery, European Volume 33(3): 337-341, 2008 (平成20年)	A New Method of Nerve Bridging with a Collagen Mesothelial Tube.	Ryoke K et al	整形外科
Foot and Ankle International 29(9): 950-955, 2008	Late-stage freiberg disease treated by osteochondral plug transplantation: a case series.	Miyamoto W et al	整形外科
The Journal of Hand Surgery, American Volume 33(10): 1868-1870, 2008 (平成20年)	Vascular Leiomyoma Resulting in Ulnar Neuropathy: Case Report.	Miyamoto W et al	整形外科
Hand Surgery 13(3): 193-195, 2008 (平成20年)	Metastasis of Gastric Cancer to the Fifth Metacarpal Bone.	Miyamoto W et al	整形外科
整形外科看護 13(1): 33-35, 2008 (平成20年)	変形性股関節症	馬庭壯吉 他	整形外科
日本臨床スポーツ医学会誌 16(2)別刷: 196-202, 2008 (平成20年)	学校における運動器検診の現状と課題	内尾祐司 他	整形外科

教育医事新聞 第285号: 2, 2008(平成20年)	学校における児童・生徒のスポーツ外傷・障害予防に向けて	内尾祐司	整形外科
西日本脊椎研究会誌 34(1): 5-8, 2008(平成20年)	化膿性脊椎炎における起因菌同定と抗菌薬選択の重要性	柿丸裕之 他	整形外科
Osteoarthritis Update No1: 26-28, 2008(平成20年)	変形性膝関節症の最新知見	内尾祐司	整形外科
中国・四国整形外科学会 雑誌 20(1): 49-53, 2008 (平成20年)	小児横断性脊髄炎の一例	桐田由季子 他	整形外科
きょうの健康11月号: 74- 77, 2008(平成20年)	放置しないで成長期のスポーツ障害	内尾祐司	整形外科
整形外科 59(9): 1098- 1101, 2008(平成20年)	頸椎椎弓形成術後早期に椎体圧潰を呈した1例	河野通快 他	整形外科
別冊整形外科 54: 97- 100, 2008(平成20年)	肘関節離断性骨軟骨炎に対する自家骨軟骨柱移植術—斜角状骨軟骨柱による工夫—	四本忠彦 他	整形外科
Hip Joint Vol 34: 269- 271, 2008(平成20年)	片側の股関節固定術を受けた内反股変形患者に対する大腿骨外反骨切り術の効果	馬庭壮吉 他	整形外科
Hip Joint Vol 34: 687- 689, 2008(平成20年)	THA患者に対する間欠的空気圧迫法によるDVT予防の検討	山口英敏 他	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 51(6): 1129-1130, 2008(平成 20年)	背部の軟部腫瘍に続発し短期間に胸椎硬膜外腔へ進展したdumbbell型血管腫の1例	河野通快 他	整形外科
埼玉県整形外科医会誌 24: 80-90, 2008(平成20 年)	学校における運動器検診の現況と課題(学術講演)	内尾祐司	整形外科
膝 33(2): 283-286, 2008 (平成20年)	膝蓋骨試験機による膝蓋骨内側支持機構の生体力学的評価	内尾祐司 他	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 51(6): 1153-1154, 2008(平成 20年)	治療に難渋した膝離断性骨軟骨炎の1例	熊橋伸之 他	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 51(4): 707-708, 2008(平成20 年)	変形性肘関節症に対する鏡視下手術の治療成績	喜井竜太 他	整形外科
整形・災害外科 51(9): 1195-1199, 2008(平成 20年)	手指および足趾内軟骨腫治療におけるリン酸カルシウム骨ペーストの使用経験	門脇 俊 他	整形外科
中部日本整形外科災害 外科学会雑誌 51(3): 469-470, 2008(平成20 年)	スポーツ選手の変形性肘関節症に対する関節鏡視下手術	山本宗一郎 他	整形外科
脳血管攣縮 (2008年)	塩酸フェスジルの選択的動脈内投与併用療法の臨床的有用性と同剤の血液および脳脊髄液中の薬物動態解析.	秋山恭彦 他	脳神経外科
Brain & Development (2008年6月)	Diagnosis of congenital hydrocephalus and delivery of its patients in Japan.	Moritake K, et al	脳神経外科
Neurologia Medico- Chirurgica (2008年5月)	Cutting balloon angioplasty for carotid artery in-stent stenosis supported by three-dimensional rotational angiography with automated vessel analysis software—Technical note—.	Akiyama Y, et al	脳神経外科